

業 務 状 況 の 公 表

鹿屋市告示第268-4号

地方公営企業法第40条の2第1項及び鹿屋市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例第8条の規定に基づき、令和3年3月31日現在の鹿屋市下水道事業の業務状況を次のとおり公表する。

令和3年6月1日

鹿屋市長 中西 茂

目 次

1	事業の概要	1
2	業務量	1
3	経理の状況	2
4	企業債の状況	2
5	令和2年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況	3
6	令和3年度鹿屋市水道事業当初予算の概要	5

令和2年度 鹿屋市下水道事業下半期業務状況説明書

1 事業の概要

本年度は、将来にわたり下水道サービスの提供を安定的に維持していくため、今後10年間の中長期的な経営の基本計画である「鹿屋市下水道事業経営戦略」を策定するとともに、管渠の耐震化、下水道未普及地域の污水管渠整備及び雨水管渠整備等を実施し、計画的な整備及び施設の維持管理に努めた。

2 業務量

区 分 \ 年 度 別	令和2年度 下 半 期	令和2年度 上 半 期	増 減	令和2年度末 現 在
処 理 件 数 (件)	27,835	27,621	214	55,456
総 処 理 水 量 (m ³)	1,032,014	1,068,767	△ 36,753	2,100,781
1 日 平 均 処 理 水 量 (m ³)	5,670	5,840	△ 170	5,756
年 間 有 収 水 量 (m ³)	988,896	998,119	△ 9,223	1,987,015
有 収 率 (%)	95.82	93.39	2.43	94.58
1 日 平 均 有 収 水 量 (m ³)	5,433	5,454	△ 21	5,444

※ 普及率及び有収率の増減の単位はポイントである。

3 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位:円)

収 入	区 分	現計予算額	執行額		決算額	予算に対し 増 減 額
			下半期	上半期		
	下水道事業収益	991,968,000	383,883,410	560,271,252	944,154,662	△ 47,813,338
	営 業 収 益	238,978,000	140,232,776	108,230,312	248,463,088	9,485,088
	営 業 外 収 益	752,990,000	243,650,634	452,040,940	695,691,574	△ 57,298,426
支 出	区 分	現計予算額	執行額		決算額	不用額
			下半期	上半期		
	下水道事業費用	934,424,000	645,289,486	242,092,000	887,381,486	47,042,514
	営 業 費 用	811,419,000	594,191,542	185,758,606	779,950,148	31,468,852
	営 業 外 費 用	102,485,000	43,165,011	45,012,382	88,177,393	14,307,607
	特 別 損 失	19,920,000	7,932,933	11,321,012	19,253,945	666,055
	予 備 費	600,000	0	0	0	600,000

(2) 資本的収入及び支出

(単位:円)

収 入	区 分	現計予算額	執行額		決算額	繰越額	予算に対し 増 減 額
			下半期	上半期			
	資 本 的 収 入	271,921,000	210,472,930	93,876,380	304,349,310	0	32,428,310
	企 業 債	149,800,000	132,200,000	0	132,200,000	0	△ 17,600,000
	補 助 金	97,361,000	76,942,676	69,500,000	146,442,676	0	49,081,676
	分 担 金 及 び 負 担 金	24,375,000	215,140	24,376,380	24,591,520	0	216,520
	固 定 資 産 売 却 代 金	385,000	1,115,114	0	1,115,114	0	730,114
支 出	区 分	現計予算額	執行額		決算額	繰越額	不用額
			下半期	上半期			
	資 本 的 支 出	635,356,000	238,542,246	339,857,785	578,400,031	34,500,000	22,455,969
	建 設 改 良 費	310,430,000	74,655,984	178,819,918	253,475,902	34,500,000	22,454,098
	企 業 債 償 還 金	324,926,000	163,886,262	161,037,867	324,924,129	0	1,871

4 企業債の状況

(単位:円)

前年度末残高	本年度借入額	下半期償還高	上半期償還高	本年度末残高
5,219,216,207	132,200,000	163,886,262	161,037,867	5,026,492,078

5 令和2年度鹿屋市下水道事業貸借対照表 (消費税抜)

(令和3年3月31日)

(単位: 円)

資 産 の 部			
1 固 定 資 産			
(1)有形固定資産			
イ土地		506,357,251	
ロ建物	379,831,302		
減価償却累計額	<u>△ 19,715,604</u>	360,115,698	
ハ構築物	12,544,813,627		
減価償却累計額	<u>△ 394,673,030</u>	12,150,140,597	
ニ機械及び装置	1,132,035,231		
減価償却累計額	<u>△ 121,506,046</u>	1,010,529,185	
ホ車両運搬具	65,714		
減価償却累計額	<u>△ 44,947</u>	20,767	
ヘ工具器具及び備品	4,708,413		
減価償却累計額	<u>△ 817,299</u>	3,891,114	
ト建設仮勘定		<u>26,152,192</u>	
有形固定資産合計		14,057,206,804	
固定資産合計			14,057,206,804
2 流 動 資 産			
(1)現金預金		185,094,178	
(2)未 収 金	43,821,930		
未収金貸倒引当金	<u>△ 924,000</u>	42,897,930	
(3)その他流動資産		<u>240,000</u>	
流動資産合計			<u>228,232,108</u>
資 産 合 計			<u><u>14,285,438,912</u></u>

負 債 の 部

(単位：円)

3	固 定 負 債			
(1)	企 業 債			
イ	建設改良費財源に 充てるための企業債		4,684,293,370	
(4)	引 当 金			
イ	退職給付引当金			
	固 定 負 債 合 計			4,684,293,370
4	流 動 負 債			
(1)	企 業 債			
イ	建設改良費財源に 充てるための企業債		342,198,708	
(2)	未 払 金		32,022,784	
(3)	引 当 金			
ロ	賞与引当金	6,090,704		
ハ	法定福利費引当金	1,247,710		
	引 当 金 合 計		7,338,414	
(4)	その他流動負債		500,460	
	流 動 負 債 合 計			382,060,366
5	繰 延 収 益			
(1)	長 期 前 受 金		6,079,293,171	
(2)	長期前受金収益化累計額		△ 239,719,614	
	繰 延 収 益 合 計			5,839,573,557
	負 債 合 計			<u>10,905,927,293</u>

資 本 の 部

6	資 本 金			2,827,885,436
7	剰 余 金			
(1)	資 本 剰 余 金			
イ	受贈財産評価額	503,168,251		
ハ	工事負担金			
ロ	補助金(国・県・市)	1,704,586		
	資本剰余金合計		504,872,837	
(2)	利 益 剰 余 金			
イ	減 債 積 立 金	0		
ロ	建設改良積立金	0		
イ	当年度未処分利益剰余金	46,753,346		
	利益剰余金合計		46,753,346	
	剰 余 金 合 計			551,626,183
	資 本 合 計			<u>3,379,511,619</u>
	負 債 資 本 合 計			<u>14,285,438,912</u>

6 令和3年度鹿屋市水道事業当初予算の概要

(1) 経営方針

下水道事業は、計画区域内の整備により普及率が向上する一方で、人口減少や節水意識が要因となり、収益は減少傾向となる見込みである。また、施設面においても、今後、多額の更新費用が見込まれているため、令和2年度に策定の「鹿屋市下水道事業経営戦略」に基づき、計画区域や使用料等の見直しを検討していくこととしている。

令和3年度は、これらの方針等を念頭に、下水道事業の目的である、「生活環境の改善」「公共用水域の水質保全」「浸水の防除」に基づいた事業を推進するとともに、将来に向けた効果的な投資に努める。

(2) 業務の予定量

① 接続戸数	10,693 戸
② 年間総処理水量	2,073,871 m ³
③ 1日平均均処理水量	5,682 m ³
④ 主要な建設改良事業	170,300 千円

(3) 主な事業

①汚水整備事業

鹿屋市公共下水道事業計画（第7期）に基づき、汚水整備事業を行う。

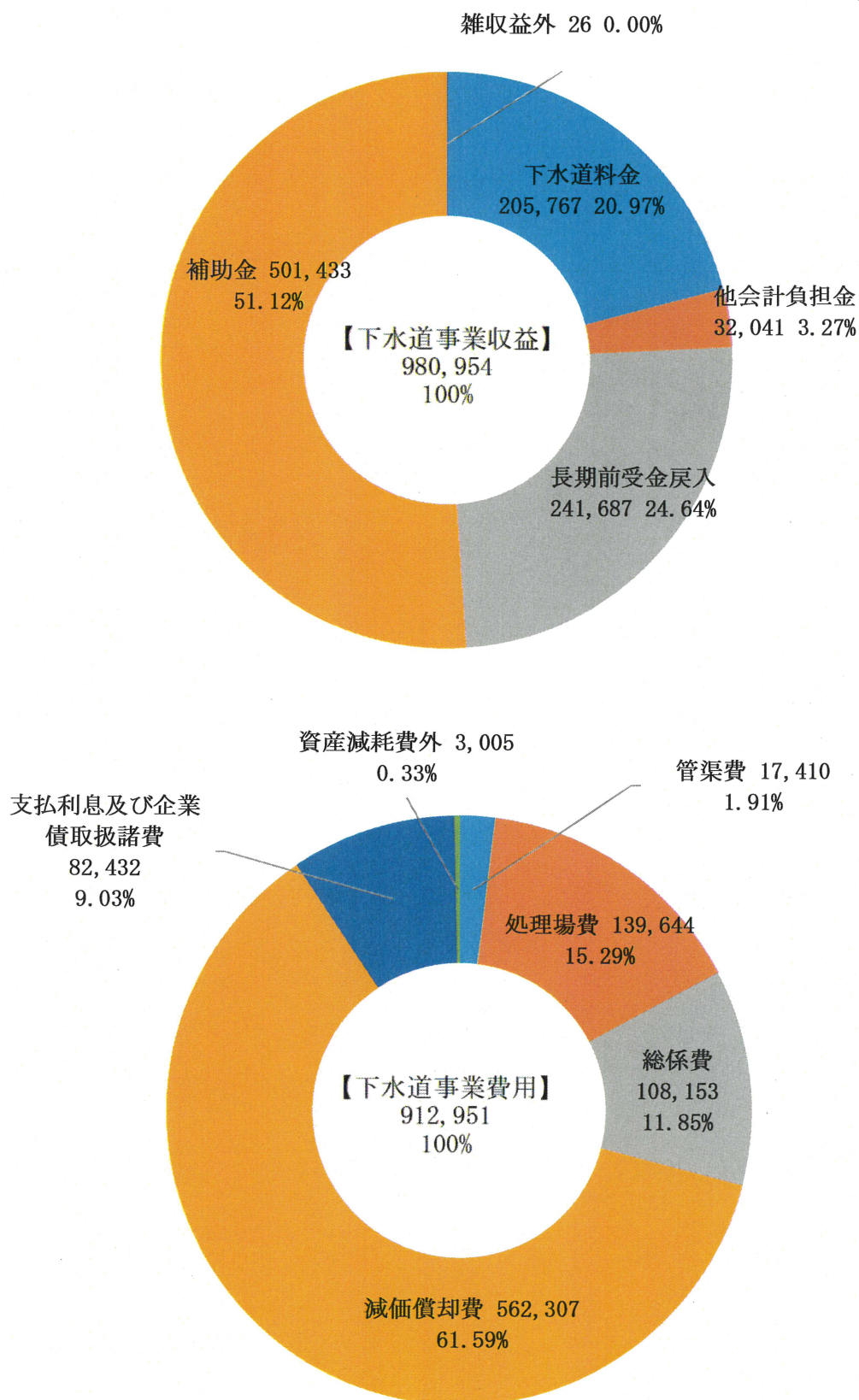
- ・計画区域内における未整備地区の汚水管渠整備を計画的に行い、生活環境の改善を図る。
- ・汚水管渠等の耐震化を図り、災害に強い施設を構築する。
- ・下水道施設の点検、調査、改築に係る実施計画策定を行う。

②雨水整備事業

鹿屋市総合雨水排水対策事業計画（2期計画）に基づき、札元1丁目地区の道路冠水解消に向けて、雨水管渠の整備を行う。

(4) 収益的收入及び支出

(単位：千円)



(5) 資本的收入及び支出

(単位：千円)

